



平成 18 年 2 月 13 日

各 位

会社名 株式会社エフピコ  
代表者名 代表取締役社長 小松 安弘  
(コード番号 7947 東証・大証第一部)  
問合せ先 取締役経理財務本部長 瀧崎 俊男  
(TEL . 084 - 953 - 1145)

### 平成 18 年 3 月期 通期業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 11 月 11 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)通期における連結・個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

##### (1) 連結

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	126,000	6,400	3,460
今回修正予想 (B)	126,000	6,600	3,590
増減額 (B - A)	-	200	130
増減率 (%)	-	3.1	3.8
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	124,152	3,632	2,437

##### (2) 個別

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	120,000	5,600	2,700
今回修正予想 (B)	120,000	5,850	2,950
増減額 (B - A)	-	250	250
増減率 (%)	-	4.5	9.3
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	118,054	2,731	1,263

## 2. 修正の理由

連結・個別の業績見通しにつきましては、P S P低発泡品、トレー容器「F L Sシリーズ」、蓋・本体一体型フードパック「S Aシリーズ」等の販売が好調で、売上高は順調に推移しております。生産面におきましては、生産性向上及び原材料費削減等により製造コストの低減が進んでおります。物流面におきましても、サプライチェーンマネジメント（S C M）により、運送費の削減や在庫圧縮等による物流コストの削減が進み、販売管理費全般でのコストダウンを推し進めております。これらに加えて原材料価格の動向を鑑み、経常利益、当期純利益ともに平成17年11月11日発表の連結・個別業績予想を上回ることが見込まれ、また、連結の業績が過去最高益になると見込まれますので、上記のとおり上方修正いたします。

（注）上記の修正予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上